

British Periodicals Collection IV

British Periodicals Collection IVは、19世紀半ばから21世紀初期までを対象に、イギリスの著名な雑誌を10誌提供します。創刊号から最終号または2005年刊行号まで、限りなく欠号が生じないように収集されており、表紙から全てのページをデータ化しています。

当時のイギリスの文化や国際関係を研究する上で重要な資料群です。19世紀から20世紀のイギリス史研究にご活用ください。

(19世紀以前を対象としたCollection I~IIIもご用意しております、詳細は裏面をご覧ください。)

【Collection IV 収録誌のテーマ】

社会主義と労働運動 / 国際関係および国家間の衝突 / 余暇 / 田園都市 / 芸術 / 旅行 / 大英帝国と世界 / 子どもと若者

【Collection IV 収録タイトル(収録年代)】

- **Wide World Magazine (1898-1965)**
- **The Field (1853-2005)**
- **The Highway (1908-1959)**
- **The War (1939-1941)**
- **Tribune (1937-2005)**
- **Picture Show (1919-1960)**
- **The Marvel (1893-1922)**
- **The Humorist (1922-1940)**
- **Top Spot (1958-1960)**
- **Answers to Correspondents (1888-1955)**

【収録詳細】

収録年代: 1853-2005年

収録タイトル: 10誌

収録形式: 表紙から全てのページを収録。カラーページは高精細フルカラーで電子化

検索機能: 記事索引を付与、全文の検索も可能(OCR)

横断検索: 他のPQプラットフォームに搭載されているデータベースとの同時契約で、横断利用が可能

THE WIDE WORLD MAGAZINE

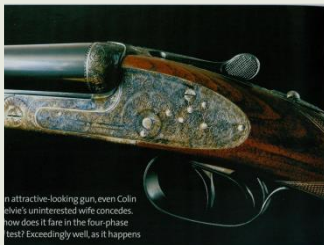
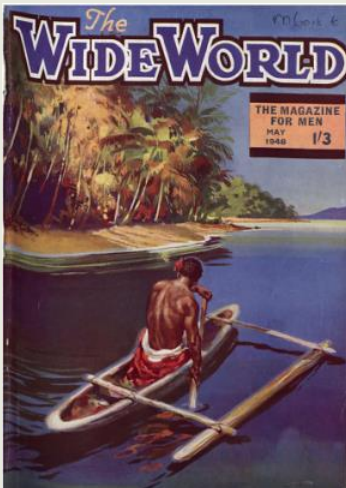
ADVENTURE~TRAVEL~SPORT

(1898-1965)

「事実は小説より奇なり」という信念のもと、世界で起こっているあらゆる事象を取り上げた月刊誌です。世界各地へ記者を派遣、また海外経験がある人物へ取材し、真実のみを記事の対象としたため、フィクション誌が多かった時代に新たな読者層を獲得しました。

写真やイラストを多用して各地の流行りや風習について記述し、日本を含む当時の世界の様相を調査することができます。

図左上より、Wide World表紙(1948)、10世紀から続く日本の伝統として取り上げられる海女(1961)、収録記事の題材となった場所を地図で示した目次(1945)、新たな薬の研究のために、アフリカの伝統医学を調査して成果を上げたDr. Don Moody(1965)、ローマの剣闘士の儀式(1965)、ハンガリーにある最長22mの高さを誇る洞窟への探検(1965)



RICE IN AUGUST, WITH BEANS GROWING AROUND THE EDGES, AND (right) A FIELD OF BARLEY IN APRIL.

FARMING IN JAPAN

By LIEUT.-COLONEL J. F. S. OTTLEY

Where the primitive and the modern go hand in hand

main winter crop, barley, was well ahead, albeit still very green, standing in close ranks on its high ridges, all raised and sown by hand. The rice fields were being ploughed with the occasional bullock, or—more often—drag up. Some fields were more advanced and a little was being made by pounding the earth with mallets, or running spiked boards over the furrows. Some even on the low banks

THE FIELD

(1853-2006)

狩猟や釣りを含むフィールドスポーツ、田園地方での生活など、自然環境や地方に関する情報を提供する、世界で最も古い雑誌の一つです。フィールドスポーツを嗜む人に向けて創刊された1853年以来、現在でもその人気を誇ります。イギリス国内のピックを中心に他国の話題も扱い、日本の農業や鴨猟の伝統も取り上げられています。

また記事の間には、田園地方の不動産広告が入り、19世紀から続く田園都市への人気は垣間見られます。

図左上より: The Field表紙(1999)、銃の最新モデルについて、使い心地や重さを紹介(2005)、イングランド南東部サリーにある、6エーカー・テニスコート付きの不動産情報(1939)、原始的・現代的な方法が共存する日本の農業を取り上げた記事(1948)

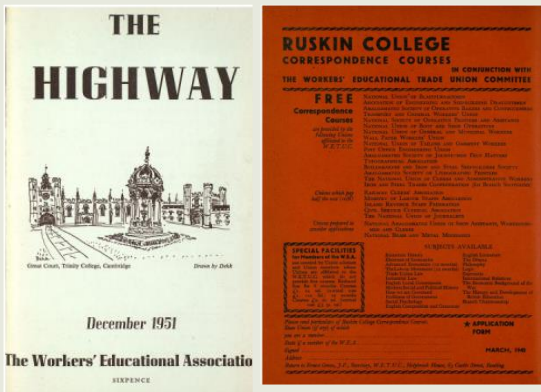
THE HIGHWAY

(1908-1959)

成人教育などを支援するイギリス最大の慈善団体である、Workers' Educational Associationが発行する月刊誌です。肉体労働者と教育の専門家が、教育に関する社会問題を議論できる場をつくるという目的のもと創刊されました。

教育問題に関連する論文や、研究者による寄稿、世界の教育産業の調査など、当時のイギリスと世界の社会問題を精査することができます。

図左より、The Highway表紙(1951)、無料の成人教育コースの案内(1940)



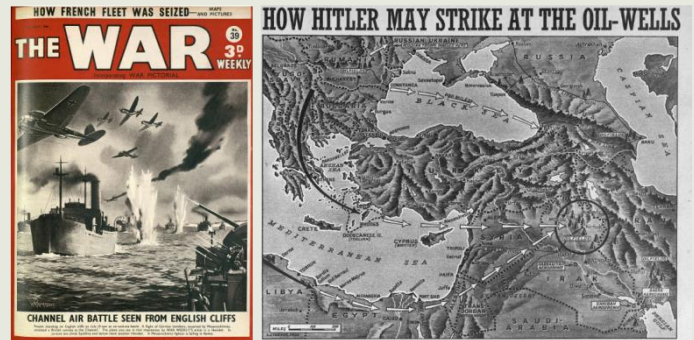
THE WAR

(1939-1941)

戦争の最新報道、戦闘機の解説、著名人による寄稿など、戦争に関するあらゆる情報を提供する雑誌です。1941年3月までは毎週刊行し、戦況の最新情報を届けました(4月以降は隔週での発行となりました)。

その中でも地図を使った解説では、戦線の移動状況や、狙われる可能性のある資源採掘地と戦術など、戦地の現状報告から予想までを詳細に記述しました。当時のヨーロッパの軍事状況をはじめとする大戦の調査にご活用いただけます。

図左上より、The War表紙(1941)、ヒトラーが狙う可能性のある石油採掘地とその侵攻予想(1941)



Tribune

Voice Of The Left

(1937-2007)

民主社会主義を支持する、イギリスで最も歴史のある雑誌の一つです。ヨーロッパ中で沸き上がったファシズムに対抗する声を届けるという理念のもと創刊され、一時の休刊を挟み、現在では四半期の刊行となり存続しています。全体主義を批判した作家であるGeorge Orwellも文芸記事の編集者として携わり、労働党寄りの報道を社会へ届けました。

図左より:Tribune表紙:9.11を受けてアメリカが奔走している様子を描いた風刺画(2001)、Tribune表紙:アメリカによるアフガニスタン侵攻後のメディア批判の表紙(2001)



Picture Show

(1919-1960)

最新の映画情報を提供する大衆雑誌で、上演情報、映画の論評、製作陣へのインタビュー、ゴシップなど、映画にまつわるあらゆる情報を収録します。イギリスだけでなく、アメリカの映画情報もカバーし、20世紀の映画研究にご活用いただけます。

図左より、Picture Show表紙:若草物語(1949)、オードリー・ヘップバーンの生い立ち(1953)、映画「ローマの休日」のハイライト(1953)

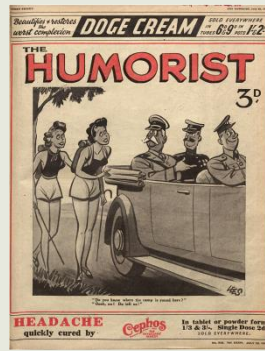




The Marvel (1893-1922)

著名な作家の質の良い文学作品を提供するという理念のもと創刊された、男性向けの週刊文芸誌です。当時安価で人気があった“Penny Dreadful”に対して、内容が粗悪であると対抗しました。

左図: The Marvel表紙 (1865)



The Humorist (1922-1940)

ユーモアに富んだ漫画や小説を提供する週刊誌です。戦争を題材とするものも多く、記事や作品から、当時の社会状況をご覧いただくことができます。

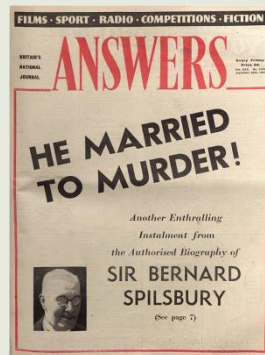
左図: The Humorist 表紙 (1940)



Top spot (1958-1960)

コミックを中心に、スポーツ、戦闘、ファッションなど、「男らしい男の雑誌 (he-human fare)」として、若者男性に向けた情報をいち早く届けた週刊誌です。

左図: Top Spot表紙:イタリア女優のSophia Lauren特集(1959)



Answers (1888-1955)

Alfred Harmsworthが初めて創刊した週刊誌*で、あらゆる読者の投書に回答する雑誌として創刊されました。後に、社会のあらゆるトピックを扱う一般誌となり、当時の流行・関心を追いかけることができます。

左図: The Answers表紙 (1951)

*創刊時タイトル: Answers to Correspondents on Every Subject under the Sun

British Periodicals コレクションのご案内

17世紀から20世紀までに刊行されたイギリスの雑誌を収録する、British Periodicalsのその他のコレクションのご案内です。多様なイギリス史の研究にぜひご検討ください。

◆ British Periodicals Collection I

17世紀から20世紀前半までの期間を対象として、160誌を提供します。哲学、歴史学、科学、美術、社会科学をはじめとする幅広い分野をカバーします。

◆ British Periodicals Collection II

17世紀から20世紀半ばの間に出版された雑誌を310誌提供します。広範な分野を網羅しますが、その中でも文学、戯曲、音楽に関する人文科学分野の雑誌を多く収録します。

◆ British Periodicals Collection III

20世紀前半に大衆に親しまれた週刊雑誌8誌を創刊号から最終号まで収録します。イラストと写真を多用した近代的な誌面で知られるタイトルを集め、世界情勢から文芸、ゴシップまで当時の社会の関心事を広くカバーして、近代イギリスの社会と文化の研究に新たな視点を提供します。

契約関連情報

- ◆ 年間購読契約または恒久アクセスライセンス契約(買切)でご提供します。恒久アクセスライセンス契約の際は、一年目から毎年維持費がかかります。
- ◆ 同時アクセス数無制限(IPアドレス認証)
- ◆ 契約金額は機関種別および所属人数により異なります。
- ◆ 個別にお見積り申し上げますので、最寄りの弊社営業部/所までお問い合わせください。
- ◆ 株式会社紀伊國屋書店 デジタル情報営業部 Email: pqhelp@kinokuniya.co.jp